令和2年度 第7回広尾町教育委員会会議録

- 1 日 時 令和2年8月31日（月）午後1時30分～
- 2 場 所 コミセン大ホール
- 3 委員の出欠席 出席 中村委員、武藤委員、大森委員、石山委員
欠席
- 4 教育長の出欠席 出席
- 5 出席した職員 管理課長、社会教育課長、管理課長補佐、学校給食センター所長
- 6 町民憲章朗読
- 7 開 会
- 8 議 事

教育長(13:30)

〉皆さまお疲れ様です。それでは早速議事に入らせていただきます。日程第1、報告事項1の「会議及び諸行事報告について」の説明をお願いします。

管理課長

〉それでは日程第1、報告事項1、会議及び諸行事の報告であります。7月10日から8月27日までの報告でございます。

（議案1頁により説明）

〉8月27日、南十勝教育振興会の打ち合わせを開催しております。南十勝の教育長で振興会事業について打ち合わせを行ったものでございます。この後、教育長から詳細については説明をいただきたいと思っております。以上、教育委員会会議及び諸行事報告とさせていただきます。

教育長

〉8月27日の南十勝教育振興会打ち合わせということですね、これについては今年度南十勝教振興会の事業がことごとくコロナの影響で中止をせざるを得なくなったという中で、南十勝の教育委員研修会加えて今年度から校長会の研修会を合同での開催を予定しておりました。大樹町が今年度当番だったんですけど、その大樹町からですねこれだけはや

りたいということで案内文書が来たんですが、ちょうど大樹町でコロナの感染者が出たときにですねタイミング悪く来たんですね、本当にやるのかという話になりまして、急遽4人の教育長が集まって打ち合わせをさせていただきました。基本的には大樹町はやりたいということなんですけれど、夜の部を計画をしておりました。けれども今回に限ってはまず昨年行っていた単独開催、教育委員と校長会を単独にして9月24日に予定されておりますけど、まずは校長会の研修会をやりましょうと、1時間程度、短時間で終わらせると、夜の部はなしということに決まりました。じゃあ教育委員さんのほうはどうするのかということでですね、これはある程度落ち着いた中でですね、まあ夜もやりたいという考えで大樹町もおりますので、時期は10月になるのか11月になるのかわかりませんが、一応予定をしたいということです。十勝教育局長の村上さんが今回代わったんですけど今年度一回も十勝で顔合わせというのをやったことがないんですよ、そういうこともあって南十勝の教育委員の研修会に村上局長を講師に呼んで1時間程度講演をいただいて、短時間で会食をして終わらせる。ただ時期についてはまだ決まっていませんけれどそういう考えで計画をしておりますのでご了承いただきたいというふうに思います。以上です。

〉では報告事項の「会議及び諸行事報告について」報告がありましたけれど、これに関して確認等がありましたら発言をお願いします。

大森委員

〉はい、よろしいですか。7月29日の新型コロナウイルス対策本部会議について具体的にどのような内容だったか教えていただければよろしいですか。

管理課長

〉はい。こちらのほう先ほどちょっと出たんですけども、臨時交付金のほうの部分もございまして、どのような事業に充てるのかというのを全庁的にまとめたところもございまして。あとは引き続きコロナウイルスの対策について各課からですねどのような対策をしているかの報告をしたところです。

大森委員

〉それは役場内のことだけではなくて、それぞれの管轄の町民に対しての対策ですとか広い観点での対策ですか。

管理課長

〉そうですね、各課に関係しているところで各課で各施策があつて町民が結びつくところがございまして、この時期にはですねちょうどステージが3から2から1のところに移った時期で原則としては2メートルなんですけれど感染症対策としてある程度1メートル以内という形で、たしか議案に出されていた時期だと思います。

教育長

〉ちょっと補足しますけれど、まずですね広尾町としての取り組みですね。十勝でも最近

感染者の報告がありますので、一次緩めたこともあるんですけど、多人数での会食や飲み会を避けてくださいと、まあ少人数だったらいいとのことなんですけど何人だったらいいのかが実際に具体的な数字は出ていませんけど、極力ですね多人数での飲み会については自粛するようにすること。それから北海道のコロナ通知システムについてお聞きになったことがあると思うんですけど、接触確認アプリ、これに登録をするとですね、なんだったっけ。

管理課長

〉各施設にはQRコードを設置してですね、そこにスマホをかざすとですね、その施設でもし感染症の方が発生した場合に速やかに自分の携帯のほうに通知が来るという、そういった部分で特に学校、社会教育施設、そこにはQRコードを貼ってあります。そこにスマホをかざしていると、もしその施設で感染症の発症者が出た場合には速やかに通知が来るということでもあります。

教育長

〉その積極的活用についての協力依頼、それからこれは庁舎内ですけれども業務に支障のない範囲です。時差出勤をしてくださいということです。それからこれは当然のことなんですけど、発熱とか風邪の症状が見られたときは出勤は当然しないでくれと、自宅療養にて体調管理に努め外出を控えるように、これは職員向けに通知があった分です。基本的には従来から「3密をさける」そういうものを守っていただくと、手洗い・うがい等についてやってくださいよと、そういったことの確認もこの会議の中で話し合われたということです。

大森委員

〉広尾町としての目安ですね。目安の確認ということですね。

教育長

〉そうです。あと従来ですと都市部、札幌も出張は原則禁止ということなんですけども、今は札幌市は外しています。東京都については広尾町としてはまだ出張は認めないということになってます。ですから道内であれば出張はオッケーということで確認をしております。

〉この件について、ほかに確認等ございますか。よろしいですか。（各委員「はい」）

〉それでは次に移ります。日程第2、議案第12号、「令和3年度から使用する中学校用教科用図書の採択について」提案理由をお願いいたします。

管理課長

〉はい。4頁をお願いいたします。議案第12号、「令和3年度から使用する中学校用教科用図書の採択について」説明をさせていただきます。来年度から使用します中学校の教科書であります。発行者名は国語から道徳まで下記のとおりとなっております。こちら先ほど行事報告等でもふれさせていただきましたが教育長が採択協議会に出席いたしまして令和3年度からの第12地区の教科書採択、こちらのほうに決まっております。このことにつきまして教育委員会に諮るものでございます。よろしく申し上げます。

教育長

〉補足をさせていただきます。この会議、6回開催をしております。まず4回目の会議ではそれぞれ12教科、養護学校の教科1つの図書の採択をすることで合計13の調査委員会が設けられています。その中には学校の教員、それから学識経験者等が入りましてですね13の調査委員会でそれぞれ各出版社から出されている図書の内容についての報告がございました。かなりハードでですね、午前中10時から始まって終わったのが4時半ぐらいかな、非常にハードな会議でありました。5回目についてはその調査委員会の報告に基づいて2つの出版社に絞ろうというようなことで、それぞれ管内の教育長が意見を出し合うということでありまして。第6回目で最終決定なんですけど、ここでは前回絞った2社を1社に絞り込むという、これについても各教育長の意見が出されまして1社に決定をしたというような会議の内容であります。

〉それでは、議案第12号について質疑等がありましたら発言をお願いします。これについてはよろしいでしょうか。

大森委員

〉よろしいですか。今、いじめの問題ですとかいろいろ教育に関する点検及び評価報告書にも出てくると思うんですけど、その問題がやっぱり昔からずっと数年続いていて今も根強く残っているのではないかなというふうに思うんですが、いじめの問題での情報発信とかそういうことで昔とはちょっと違う形になってきていたり、広尾でどのくらいどういう状況なのかと私たちとしてはよくわからないんですけど、世の中一般としてそれが問題になっていますので、情報をいかに真実なのかそうでないのか、それから誹謗中傷であるとかいろいろあると思うんですがそういうことは頭において情報モラル教育というのが非常に大事になってきて、仕組みのほうでそういうことについて重点を置いて教育をしていくという部分出ていると思うんですけど、そういう内容というのは具体的に教科の中で教科書の中にありましたでしょうか。

管理課長

〉はい、特別な教科「道徳」ということでこちらのほう教科としてですね、今までは評価を行っていなかったんですけど、こちらのほうの道徳のほうでですねきちんと評価を行うということで、この道徳を使ってですねそういった全般的にはモラル教育ですけどそういう形ですすめております。あとネットパトロール等は各学校でやっております。それとこれは現在話題になっているところで別件なんですけど広尾中学校の学校運営協議会でですね情報端末、携帯電話等の使用についてどのように考えるかというのが話題に出ていました。問題は使い方ではないかということで、これから使い方を考えていかなければならないのではないかと学校運営協議会からの提案がですね、広尾っ子応援団の通信等でですね皆さんに広く周知していきたいと思っています。

教育長

〉よろしいでしょうか。

大森委員

〉はい、わかりました。

教育長

〉ほかにございませんか。（各委員「はい」）それでは以上でこの件については終わります。

〉次に、日程第3、議案第13号、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告について」提案理由をお願いいたします。

管理課長

〉それでは、日程第3、議案第13号、10頁をお開きいただきたいと思います。「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告について」でございます。こちらのほう別冊のほうをお願いしたいと思います。これについては平成20年度より毎年度議会に報告しているものであります。報告事項の内容につきましては例年と変わるものではなく、お目通しをいただいていると思いますので詳しい説明は省略いたしますが、この報告にあたりましてですね第三者の意見を聞くことになっております。32頁のほうをお願いしたいと思います。ここにですねお2人の意見を載せさせてもらっております。1人は広尾町町内会連合会長 藤井喜代隆氏 もう1人は豊似小学校PTA会長 五十嵐浩二氏 でございます。お2人の意見をかいつまんで述べさせていただきますけど、1つには「豊似小学校の外構工事も終わり教育環境の整備が図られているというところでありまして。耐震化率が100%となり児童・生徒が安心して学校生活を送る環境整備に努めていただいた。」ということでございます。今話題に出ています「学校に登校できない子どもや、何らかの支援を必要とする子どもたちに対し、関係者が連携して対応できる体制づくりが必要であるとされています。特に新型コロナウイルス感染拡大防止のための学校休業による学習面の遅れに対する対策はもとより生活面や精神面でのサポートが重要ではないか」ということであります。33頁のほうをご覧ください。「コミュニティ・スクール（広尾っ子応援団）については、多くの地域の方に登録していただき様々な分野での学校運営へのお手伝いを期待しております。町民の学校に対する関心を高めるため、制度の周知にも力を入れていただきたい。」ということであります。その下「文化団体の育成については、指導者の高齢化や指導者の不足が心配であるということでバックアップ体制の強化を期待する。」ということであります。「体育施設については、今後も利用者の安全確保や施設のあり方の検討が必要と考える。」ということであります。「読書活動の推進については、幼少期からの読書習慣は将来に必要な『社会を生き抜く力』を担うと考えるので、引き続き積極的な取り組みを期待する。」ということでございます。お2人の意見は以上でございます。

教育長

〉議案第13号について質疑等がございましたら発言をお願いいたします。

大森委員

〉 はい、よろしいですか。いろいろいただいたご意見の中に、良かったという意見ともう少し検討をする必要があるのではないかという意見があって、問題提起をさせていただいているのはありがたいなと思うんですけど、その中の1つで海洋博物館など文化継承の役割を持つ施設云々というところがあります。やはりこの問題もずっとどうなっているのかなと思いつつあまり問題提起されずに来ていると思うんですが、このあたりも考えていかなければならないといけないのかなと思います。それからおとし体育施設についても施設がだいぶ古くなっているののでどうかしないとならないと考えられていると思うんですけど、このあたりも今後こういうご意見をいただいているので余計早めにどうしたらいいのかというのを考えていかなければいけないのかなと思いました。また、コミュニティ・スクールについては学校に対する関心を高めるため制度についての周知に力を入れていただきたいというふうなご意見をいただいているんですが、ということは思ったように進んでいないかというふうに感じられているのではないかと思うので、そのあたりも実際には今現在どんなことになっているのかという点がまだ問題なのかをちょっと洗い出しをしていかなければならないのかなと思います。以上です。

社会教育課長

〉 博物館等については書かれている通りだと思いますけど、今、まちづくり計画の中で広尾町検定などであるとかいろいろな部分が出てきてますのでそういった町の意見等も加えて、費用対効果等の問題も出るんですけど取り入れるものは取り入れていきたいなと思っています。それから体育施設のほうの改修に莫大なお金がかかるという部分があるんですけど、サッカーくじであるとか宝くじのコミュニティ助成等で使える助成金を使ってですねプールであるとか野球場の改修であるとかまちづくり計画の実施計画の中でですね、できるものについては提案させていただきます。ただ施設の利用者等も減ってきておりますので将来を考えたときに大規模な改修となるのか施設の集約を考えていかなければならないのかというのが現況だと思いますので、必要最小限度の修繕等で済む分についてはそれで対応してですねまちづくり計画その他について勘案してですね施設については考えていきたいと思っています。

管理課長

〉 コミュニティ・スクール制度の周知というところですね、現在広尾っ子応援団の登録者が76名だったと思います。ここらへんまだまだ少ないんですけど、少し前なんですけど十勝教育局の村上局長が来られまして家庭教育サポート企業等制度への登録承認式という形でですね拓殖工業さんに続いて何社かご要望いただいたんですけど、今後もですね企業向けにですね家庭教育のサポート企業制度の北海道への登録それに併せて広尾っ子応援団に入りたい。そういう制度の周知もしていきたいことと、もう1つ、広尾っ子応援団を作って1年経ちますので身内の方にももう一度周知をしてですね職員の方にも広尾っ子応援団本部に登録をしていただき最終的にはやっぱり町民、学校関係者とかそういう形だけでなく町民にそういう制度の周知をしてをご理解いただくというような方策をとっていきたいと考えております。

教育長

〉 よろしいですか。

大森委員

〉 施設の集約化という話も出ましたけど例えば中札内のすごく立派なプールができたときに、教育長からお話を聞かせていただいたんですけど、あそこもプールを1つに集約させることによって国からかなりの補助が出たという話でそれがなかったらなかなか大変だったという話を聞かせていただいたので、まあそういうような何かあればもう少しだいぶ助かるのかなって気がします。そういういいものがあれば利用していただいてももらえればいいなと思います。

社会教育課長

〉 わかりました。

教育長

〉 ほかにございませんか。（各委員「はい」）以上でこの件は終わります。

〉 次に、日程第4、協議事項、「令和2年度一般会計補正予算（第9号）について」説明をお願いします。

管理課長

〉 それでは日程第4、協議事項、第3回定例議会に提出します補正予算でございます。はじめに歳出のほうからご説明いたします。14頁をお願いいたします。9款1項2目、事務局費の補正は月額報酬等変更等による補正でございます。9款1項3目、教育振興費の補正はコロナウイルス対策で活動ができなかった団体交付金の減額でございます。つづいて15頁、9款2項1目、学校管理費の補正ですが学校保健特別対策事業消耗品及び備品はコロナウイルス対策による国の補正に伴いフェイスシールドや空気清浄機付加湿器を購入するものであります。あと広尾小学校駐車場区画線工事につきましては地域貢献により北見の建設会社に区画線を引いていただきましたので今回減額するものであります。教育振興費の補正で就学援助費、オンライン学習通信費でございますが国のコロナウイルス対策により就学援助費として年額1万円の支給が開始されるものです。9款3項1目、学校管理費、2目、教育振興費の補正についても同様でございます。社会教育総務費等につきましては小川課長より説明をいたします。

社会教育課長

〉 16頁をお願いいたします。まず社会教育総務費なんですけど、委員報酬の増額補正です。次に図書館・児童福祉会館費です。原材料費については本棚の製作費用ということで20万7千円補正予算を組んでおります。こちらにつきましては先日コロナ対策でですね図書館のシステムを新しくしてってことを言っていたんですけど、現実問題として図書館の書庫であったり書棚であったりがいっぱいいっぱいできて、登録をはじめる前にですね整理するものは整理するために場所がありませんので棚の原材料をみてですね、役場の建

設水道課に大工さんがおりますので棚を作っていただきまして整理したいとするものです。備品購入費、図書購入費の10万円につきましては町内の建設業者からですね図書購入目的で10万円の寄附がありましたのでそれで歳出を見させていただいたところなんです。次に体育施設費になります。10節の消耗品の関係につきましては主に高齢者健康増進センターの水銀灯の球をですね購入したいと思っております。水銀灯については水俣条約によりまして製品の製造、それから輸入・輸出、これらが条約で禁止されておりますので、今手元にある在庫を増やさないと球切れに対応できないということから手に入る分を在庫として手に入れておきたいとするものです。修繕料につきましては、豊似と野塚のパークゴルフ場についてなんですけど、現在1番ホールから18番ホールという表記がされております。パークゴルフの公式ルールによりまして、コースというのは1つのコースが1番から9番までなんです。2コース目は例えばBコースの1番から9番という表記が正しいということで、各方面から直していただけないかという話が来ております。本年11月の中までですね本年度の営業が終わりますので、カップの旗であるとかティー横にある表示について修繕したいと思っております。新年度予算でもよかったんですけども、例年4月の終わりころですね連休に入るところにオープンしますので、どうしても作業時間が取れないので今年度の営業が終わってから改修、修繕をしたいとするものです。14節、工事請負費につきましては音調津の旗等の冬期間の整理のために小学校にあります古い物置を使っていたんですけど、昔の桜の木を横にはっつけたような形のタイプの物置でボロボロになっておりまして、現在、錦町の公営住宅にあります政策空き家となっている部分の物置、こちらのほう立派なものですから、これを移設してやってその移設費の部分だけをみてですね物置自体はあるものを移動したい、そのための移設の工事費ということでございます。歳出の社会教育に関しては以上になります。

管理課長

〉それでは13頁をお願いします。歳入について説明させていただきます。教育費の国庫補助金でございますが、先ほど歳出で説明いたしました学校保健特別対策事業費補助金でございます。教育費の道補助金であります。地域学校協働活動推進事業費補助金につきましては、道の予算の範囲内で決定したということで今回減額するものでございます。寄附金でございますが指定寄附金ということで町内企業より図書館図書購入ということで10万円の寄附を受けているものです。今回補正の内容は以上であります。

教育長

〉それではこの件で質疑等がありましたら発言をお願いします。よろしいですか。（各委員「はい」）協議事項については終了させていただきます。

〉次に、日程第5、その他ですけど事務局から何かありますか。

社会教育課長

〉はたちのつどい・成人式の関係について今現在の考え方等をお知らせしたいと思います。はたちのつどい・成人式につきましては、令和3年1月3日の日曜日に開催する方向で検討しています。十勝管内的には中止とする町村は今のところありません。ただし、コロナ

禍での実施となりますので、来賓、主催者、保護者の入場については縮小しまして式の進行についても飛沫の拡散を防ぐため、町民憲章や交通安全宣言等省略できるものは省いて簡素に短時間での式典にしたいと考えています。具体的には、議会議員については議長、副議長の出席にとどめ、主催者側についても委員長のみとしまして保護者の観覧は中止としたいと思います。君が代は流しますけど斉唱は行わないなど飛沫感染防止や消毒を徹底して参加者には検温を実施した上で行いたいと思っています。管内どこの町村でも以上の感染対策をしたうえでの実施の方向性となっております。また広尾町に帰省される方には数日間の検温をお願いしまして、札幌市や関東圏からの帰省者であっても入場制限は行わず実施したいと思っています。他所の町村も同じ考え方です。なお女子にあたりましては、着物の手配、着付け、美容室の確保等予約が始まる時期になっておりますので、実施の方向で検討しまして最終的にはまだまだ先の話ですので時期が来ましたら新型コロナウイルスの状況等を踏まえた判断をしたいと考えております。以上ではたちのつどいについての考え方を説明させていただきました。以上です。

教育長

〉教育委員さんは出席ということでもいいのかな。

社会教育課長

〉来賓のほうは今言ったような形で、議長、副議長、選挙管理委員長、警察署長、連合町内会長の5人程度ですが、主催者側が、町長、副町長、教育長、教育委員、社会教育委員長まででありますと8名程度になります。職務代理者だけに来ていただくということになると来賓の数もあまりにも少なくてかっこがつかないかなという部分があります。なので、現時点では教育委員の皆さまには参加いただくようなご案内をしたいなとそのように考えています。

中村委員

〉学校長は案内しないの。

教育長

〉学校長は例年社会教育委員として来ていただいているんですが、今回は社会教育委員長だけでどうかと。

〉今の件よろしいですか。（各委員「はい」）ほかに。

管理課長補佐

〉私から2点報告させていただきます。まず1点目ですが、1学期に開催できなかった町内各校の運動会・体育祭についてです。8月20日開催の校長会議で開催内容等を確認しましたので報告します。3校ともコロナウイルス感染症対策のため今年度は来賓を招待しないとのことであります。

広尾小学校は、9月13日、日曜日、午前8時45分から11時45分までの時間で開催予定です。競技種目については1学年4種目から2種目に減らし、徒競走ではレーンをあける、リレーや応援、遊戯については実施しないとのことであります。

児童席については、テントを設置せず間隔を確保する。観覧席については4 m×4 mとし保護者及び児童の兄弟・姉妹のみ観覧可とするとのこと。また、開始の花火についても打ち上げはしないとのこと。以上です。

次に、豊似小学校です。9月12日、土曜日、午前8時45分から11時30分で予定をしているが、もう少し早く終わるのではないかとのこと。観覧については町内在住の家族のみ可とするとのこと。競技開始前の花火打ち上げは行わず、協議については接触がないもので検討中とのこと。また、発表会を実施できないため文化的なものを入れようということで「よさこい」を復活させることとしたとのこと。以上です。

次に、広尾中学校です。9月26日、土曜日に学校祭として、午前に文化祭、午後に体育祭を開催。文化祭については吹奏楽と合唱コンクールを行う。保護者席は25席程度用意し、各家庭1名までとし都度入れ替えを行うとのこと。生徒の昼食については弁当を持参する。午後の体育祭については競技を工夫して実施。応援については学級での発表の機会がないことから学級で行う。内容はダンスになると思われるとのこと。体育祭の観覧席については1家族1区画を用意する予定とのこと。以上です。

運動会・体育祭については以上です。

2点目は次回の教育委員会会議についてです。石山委員が本年9月30日で任期満了となりますので、9月末に次の教育委員会会議を開催したいと思います。会議前に町長から石山委員へ感謝状を贈呈する予定ですので、石山委員と町長の日程を確認して会議の日程を決めさせていただきたいと考えております。会議日程が決まり次第各委員さんに案内させていただきますので、よろしくお願いいたします。

以上、2点について説明を終わらせていただきます。

管理課長

〉私のほうからですね、三者合同の歓送迎会なんですけどもコロナの状況がなかなか収まらない状況なので、先ほど教育長の話にもありましたけれど多人数での会食は避けるという方向性でございます。こちらのほうはお時間をいただき情勢を見ながら検討していきたいと思っています。以上です。

教育長

〉今それぞれ報告がありましたけれど、確認することがありましたら。まあ運動会については私も呼ばれてませんので行きません。ちょっと顔を出すかもしれないですけど。椅子に座ってとかそういうことにはならないですけど。

〉私からよろしいでしょうか。来月、9月ですね、第3回の町議会定例会が開会されます。日程については、9月9日から17日までの日程になります。そこで石山委員の後任の人事案件を提案する予定であります。現時点で後任については齊藤一也氏を提案する予定となっております。南十勝研修会については先ほど申し上げましたので、それからキャンプ場に絡めてですね生涯学習セミナーということで、講師が東京から来るんですけど9月23日にスノーピークというキャンプ用品のメーカーの社長が来られます。一度現場は見て

いただいています。講演をいただきたいということで快くお引き受けいただいております。23日にコミセン大ホールで間隔を一定程度あけて開催したいなと思っていますので、これは今後広尾町にとってキャンプ場がどうなのかと、多額の費用をかけて改修することが本当にいいのかどうかということも、これから講演を聞きながら後日また議論をしていきたいと思っています。最終的には、0か100しかないと思っています。やめるのか直すのか、多くの町民がキャンプ場が必要だということであればそれは町長が判断することなんでしょうけど、まあそこも含めてですね、中途半端なことはしません。残すのであれば多額の費用がかかる。それかやめる。の判断はこれからなるかというふうに思います。その前段として、スノーピークの社長にお話をさせていただくことになっています。それから、コロナの関係なんですけども十勝でも出てきていますので、広尾町としても出る可能性はあるのかなというふうに思っています。これが学校の現場で出た場合、例えば子どもに出た場合、毎日テレビを見ているんですけど、本人の希望により非公表、非公開というのをよく聞きます。学校現場で出た以上ですね非公表というふうにはならないと思うんですね、当然、個人情報だとか公開情報だとかいろいろありますけど学校現場で出ちゃった以上は当然休校にする。あるいは学年閉鎖にする。道教委についてはどちらでもいいというふうに言っていますが、要は各自治体の判断で休校にするとか学級閉鎖にするとかというふうになるかと思えますけれど、子どもが感染したということは親がいますので親は町内で働いているんだというふうに思います。そこはまず波及していったら学校名と学年だけは公表はしたほうがいいのかなというふうには今思っています。それでないと教育委員会も学校も動けないんですね。より早く町民にも情報を流すことが必要のかなと思ってますので、そういうことですね、これは私の考えなんですけど広尾町から出た場合には休校にしたいというふうに思ってるんですけど、個々の委員さんの今のお考えをお聞かせいただきたいと思っています。

武藤委員

〉まあ当然それがベストだと思っています。ただあと濃厚接触、子どもが親からうつったのかどこからうつったのかわからない場合、PCR検査の体制だとかというのはどういうふうに、帯広から、地元の病院ではできないですね。

教育長

〉できないですね。収容先は厚生病院になってますけど、追跡調査みたいなのは保健所が行いますし。

武藤委員

〉道が全部、でしたら濃厚接触者に対してのPCR検査は道が責任を持ってやっていくということですか。

教育長

〉そうですね。感染者が出たら教育委員会だけの話ではないので、町の問題なので、当然町としてどういう対応をするかということになっていくというふうだと思いますけども、

教育委員会としては常に隠すのではなくて情報は流し続ける方がいいのかなと。

中村委員

〉それは当然だ。

教育長

〉ということを考えているんですけど、率直に意見があれば。

石山委員

〉いいと思うんですけど、今みたいな魔女狩りみたいな状態みたいなのは避けなければいけないと思います。格別な配慮が必要なのかなと思います。なった後に差別的なことがないように事前に、子どもたちは敏感にそういうの指さしたりだとかいうことが在り得るかもしれないので、コロナにかかること自体は罪悪ではないはずですから、その辺の配慮は必要かなと思います。

大森委員

〉そうですね。そこはすごくやっぱり教育委員会として重要だと思うので、検査だとかなんとかというのは医療機関にお任せするとしてそれは私たちが従うと、けれどそういう誹謗中傷だとかの問題については教育委員会中心とか発生する前からきちっと教育をしていく。具体的に何か起こったときに先生達がどういう対応をするとか、家庭では親御さんがどういうふうに子どもたちにそういうことはいけないっていうことを教えなければいけないってことを事前にきちっとしておくというのが非常に大事だと思います。

中村委員

〉今現在、学校でやってるんでしょう。

教育長

〉やってますね。まあ感染者が出ないなんてことは確実に大丈夫だとは言えませんので、広尾だっでもしかしたら出るかもしれない。そういうことがないようにしていきたいなと思います。出来る限り、実名を公表するなんてことはありませんけどできる範囲です。教育委員会で対応をしたいと思っていますし、この件については校長会を通じて再度確認をしておきたい、事前に話し合っておくべきだなと思ってお話をさせていただきました。保護者がどう感じるだろうということはありませんけど、うちとしては3校とも休校する。例えば豊似で出たとしても広尾小学校と広尾中学校も様子を見ながらということ、例えばそこに兄弟がいたとなれば当然小中学校ってことになる。そういうことも含めてとりあえず感染者が出たときは3校は臨時休校をするという腹積もりでありますのでよろしく願いしたいというふうに思いますので、よろしく願いします。委員さんのほうから何かありますでしょうか。

石山委員

〉4年間つたない私を委員会の末席に入らせていただきありがとうございました。それとですね、先日、勝毎で見たんですけどラグビーの合宿地を作るとか作らないとかちょっと不思議な記事を見たので、これはどんな感じなのか聞いてみたかったですよね。教育委員会ではどんな感じなのか聞いてみたかったですよね、例えば今ある競技場にラグビーポストを立てないとならないとかそんなこともあるし、検討するのかどうかってのを一応聞いてみたかったです。

教育長

〉まったくあの記事を見るまでうちには何の相談もない。あの記事を見て私も知りました。町長のほうには事前に来たらしいんですけど、あいさつ程度に。まあその時に呼んでくれればいいと思ったんですけど。その当日ですね、会議が終わったんで勝毎持ってきてくれと言ったんですけど5時前だからまだ来てなかったんですけど、何が載ると思ったら、元旅館を買って、13人制ラグビーで中高生をそこに住まわして、地元の中学校に通う、高校に通う、将来的にはそういうことを見据えてということを書いていますけれど、何も話を聞いてないので、グリーンパークも今はサッカー少年団が使っていますから、無断で広尾に芝のグラウンドがあるからなんて言われたって、さあどうぞ使ってくださいとはなりませんので、うちにも何の相談もないのでどうしたものかなというふうに思っているところです。

石山委員

〉なんか話が通ってるのかなと思って聞いてみようと思ったんですけど。

教育長

〉本当に何の相談もないです。

武藤委員

〉私も前に聞いたんですけど子どもたちを対象にとかじゃなくて社会人の合宿のための宿舎にするっていう感じのニュアンスで聞いていたので、私は新聞を見てその小学校、中学生対象って載ってびっくりしました。

中村委員

〉そうだよなあ。全国から集めるってことなんだよね。

教育長

〉事前にそういう相談でもあってね、あれば当然地元の高校なんかは定員割れしてますので、まあいろんな施設あると思いますけど順序はばらばらだなと思って、まあこの後話はあると思いますけど、まあそこはサッカーが使ってますのでとりあえず入る余地はないですよということしか言えないんですよ。まあサッカー少年団も自分たちのグラウンドだと思って毎日練習していますので、そこに例えば週何日か貸せやと言われてたってなかなか

そこは教育委員会としてはどうぞとは言えないかなとは思いますが、まあ話が全然ないので、今後もないのかもしれませんが、どういう展開になっていくのかというのはちょっと現時点では見えてこないですね。

社会教育課長

〉 新聞記事に載って、何一つありませんので、新聞に1回載っただけです。

中村委員

〉 不思議な話だ。

教育長

〉 ほかにございませんか。

大森委員

〉 考え方としては広尾というのは非常に気温が夏は過ごしやすいということで、運動部の合宿地だけではなくいろいろなことで興味を持たれても十分要素があるということですよ。ね。広尾町自体に、なので今回はそういう話であれだったんですけど、そういうことを忘れないように常に頭の中に入れてながら広尾町のまちづくりの中に外から見るとやっぱりそういうことに適しているとみられているんだと、それも大事な資源なんだと思ってるいろんなことを考えていくべきかなと思います。

教育長

〉 たまたま今、第6次のまちづくり計画がある程度できたんですけど、移住・定住・交流人口の増加でゆうところがあつたんですけど1項目ですねここに付け足してもらったんですね、合宿地の提供ですとかそういうことを図りながら交流人口を増やしていきたいとかって町の経済波及効果だとかそういうことも高めてですけどもそうやって話をしているその日だったんですよ、実際に合宿というのは去年からですね帯広三条高校の合唱部がですね去年から合宿をやってるんです、3泊4日で、児童会館で練習をして東陽館に泊まって、今年は引率入れて27名来ています。この時期3年生も来る予定だったんですけどコンクールもないということで3年生は引退をして、1・2年生のみなんですけども、例年ですと3年生も入れて40人くらいは来るので、そこに交通費を考えても結構なものですから、来年も来ると言ってますし、過去にはうちに来る前は糠平温泉でやってたんですけど毎年宿代が高騰していくんですって、ですからそういうこともあって気候も涼しいということもあって合宿地に選ばれたということで、ここ何年かは続くんだろうなと思います。

大森委員

〉 いけるんじゃないかと思います。本州のほうだと夏休みの部活動やクラブの合宿地だと長野県だとか冬だと伊豆のほうに行ったりとかするんですよね、冬はあつたかい夏は涼しい非常に恵まれているところなので大いに来てもらえればと思います。

教育長

〉市内でもいいんですけど市内だと子どもたちの体がもたないらしいです。

大森委員

〉暑いですがね。4、5度違うので。

教育長

〉で、ここに来た時の4日間、寒いぐらいだったんですね。

大森委員

〉本当に広尾は恵まれていますね。

教育長

〉補足ありますか。

社会教育課長

〉一応合唱部なんで、今年度につきましては飛沫感染防止対策をしてくださいと、距離もあけていますし、対面で声を出すようなこともやめていただくという条件で施設を貸しています。今後においてもそういった部分に気を付けることと消毒の部分とそういったことをきちんとしたうえで学生でもありますし、貸し出せるものは図書館の職員にも協力をいただいで対応したいと思っています。

教育長

〉そのほかなければ一度締めてよろしいでしょうか。（各委員「はい」）

〉では以上をもちまして第7回広尾町教育委員会会議を終了いたします。お疲れ様でした。
(14:35)

この会議録は、令和2年8月31日に開催の教育委員会会議の確定に基づいて作成した。
(当日の議案は別紙のとおり)

教育長 菅原 康 博

教育長職務代理者 中 村 孝 夫

(令和2年9月16日調製)

管理課長